

広報

# こだま

2015

Vol.19

【栗田病院 広報誌】

## 新年のご挨拶

理事長 栗田 裕文・院長 安部 秀三

## フォーカス くりた人

栄養課課長 管理栄養士 滑川明子

## 栗田病院レビュー

- ・第3回日本精神科医学会
- ・職員運動会
- ・芋煮会
- ・創立記念講演



### 有朋会・理念 ～私達の求める姿～

私たちの使命は、患者様、利用者様、ご家族様、地域連携機関、地域住民、有朋会職員といったあらゆる方々の「こころ」に、温かな（ホットな）灯りをともすこと、笑顔を増やし続けることです。その使命を果たすことで、以下3つの姿を実現します。

1. 医療・介護・福祉を統合した高品質のサービスを設計・開発し提供し続けている。
2. スタッフみなが有朋会の一員であることに胸を張っており、患者様、利用者様、ご家族様に質の高いサービスを提供している。
3. 働きたい・学びたいと希望する方が絶えることなく集まってくる。



医療法人社団 有朋会  
**栗田病院**

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505  
TEL: 029-298-0175 Mail: yuhokai@yuhokai-kuritah.com  
<http://www.yuhokai-kuritah.com/>

# 理事長・院長より新年のご挨拶

## 理事長よりご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。理事長の栗田裕文です。昨年4月に、これまで兼務していた院長職を辞しております。安部秀三先生が院長に就任されており、二人で力を合わせて運営を行っております。

お陰さまで、医療法人有朋会は昨年元氣一杯に活動して参りました。患者様やご家族様、連携をいただいております諸機関をはじめとした地域の皆様、そして有朋会職員の皆さん等々、たくさんの方々を支えて下さり、応援をして下さっているお陰と実感しております。この場をお借りして改めてお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、新しい年の始まりです。きつと今年も、皆様と力を合わせて、ますます、より良い医療・介護サービスを提供していけるものと確信しています（そ

うなりますよう精一杯務めて参ります）。



私たちが理念に掲げている、その求める姿を目指しての歩みの中、様々なことがあるかも知れませんが、大切なことは、例えどんな状況であろうとも、雨が降ろうが風が吹こうが、私たちが目指す先、進むべきゴール（理念）に変わりはないということです。様々な経験を通して自分たちを成長させながらしっかりと歩みを続けて、堂々と自分たちの医療・介護を行って参りましょう。

（理事長 栗田 裕文）

## 院長よりご挨拶

新年明けましておめでとうございます。新たな年を迎え皆様方も清々しい新年を迎えられたこと、お喜び申し上げます。今年の干支は未で私は年男となります。より一層気持を引き締めて運営していく所存です。本年もよろしくお願いいたします。

当院はこの地域において①精神科急性期医療、②認知症医療、③療養病棟からの退院支援による法人施設等への地域処遇、という大きな3つの治療システムのものとその充実を図りつつ運営しております。そのなかでも昨年は統合失調症の治療抵抗性状態に対する新たな治療薬（クロザピン）を導入することができました。認知症疾患医療センターの活動として、地域での事例検討会や初診前の訪問により緊急度に応じた早期対応の仕組みを開始しました。また、昨年5月から認知症対応の新規施設「小規模多機能型居宅介護・認知症グループホームクリクリ」を開設し、さらに法人のソフトの面からは、法人を運営していくなかで様々な問題を早期に対応、予防するために労働安全衛生マネジメントシステム

OHSASの審査を受審しました。

ここ数年医療を取り巻く環境は、超高齢化社会の進展や医療財源の選択と集中がはかられるなか厳しさを増しています。昨年度は診療報酬改訂があり、精神科においては「急性期医療の充実と長期化を防ぐ取り組み」、「認知症急性期入院の短縮化とスムーズな地域連携」などが重視されております。今後の精神科医療はさらに一層地域との連携、地域ケアシステムへの関わりが求められてくると思います。

当法人は引き続き地域のなかで精神科医療、認知症医療介護が直面している課題をそれぞれ取り組んでいきます。より先進的な取り組みを少しでも前進させるため、今年一年それぞれ職員の自己研鑽や様々な地域の方々との連携・対話に努めて行きたいと考えています。

本年も地域から信頼されるより良い法人を目指して、職員とともに今まで以上に取り組んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

（院長 安部 秀三）



## フォーカス くりた人

栄養課課長

管理栄養士 滑川 明子

当院で働く、現場職員の声をお伝えします。



## 部署の紹介

現在栄養課には管理栄養士3名と給食委託業者14名（栄養士1名、調理師10名、調理補助3名）が在籍しています。

私たち栄養士の主な業務は、「給食管理」「栄養管理」「栄養教育」の3つです。

当院では、1日に900食近くの食事を提供しています。献立は給食委託業者の栄養士が作成しており、私たち病院の栄養士は、献立内容の確認や治療食献立の作成、献立作成に必要な資料（加重平均栄養所要量や食品構成表等）の作成等を行っています。満足度の高い食事の提供を目指し、年4回患者様や職員を対象とした嗜好調査を実施しているのですが、厳しいご意見を頂くこともありまして：日々頭を悩ませています。

栄養管理の面では、平成18年よりNST（栄養サポートチーム）が稼働しており、医師・看護師・薬剤師・作業療法士・管理栄養士がチームとなって、患者様の栄養改善に努めています。

栄養教育は、外来通院中の患者様を対象とした個別の栄養指導が主で、月に約30件行っています。栄養指導の際は、糖尿病や脂質異常症等の内科疾患の状態だけでなく、生活習慣・経済状況・精神状態を考慮して話をするようにしています。

「栄養士＝給食」というイメージが強いと思いますが、この3つをバランスよく取り組んでいくことが

私たちの役目だと思っています。栄養課は部署の業務の他、9つの委員会やプロジェクトにも参加しています。給食委員会やNST・褥瘡対策委員会など栄養士として参加するものだけでなく、安全管理委員会やHOTAカード委員会、とつぷくりんPJ（職員間の交流を深める場を提供するPJ）など法人全体に係る活動にも参加しています。また、新人歓迎会・納涼祭・芋煮会等の病院行事においても、食事面でサポートしています。3人という小さな部署にしては、欲張り過ぎですね（笑）。

## やりがい

患者様や利用者様から「食事がおいしい」という言葉を頂くのは嬉しいです。患者様の栄養状態が改善して元氣な姿を目にした時や、栄養指導を行っている患者様の体重が徐々に減っていくのも嬉しいですね。仕事の難しさを感じることもたくさんありますが、努力が報われる瞬間です。

それから、部署や職種の壁を越えて仕事ができるのは当院の魅力の1つだと思います。11月から医療安全管理室の一員となり、「栄養」と「安全」という全く異なる分野の仕事をしています。栄養士業務とは違った楽しさがありますし、栄養士が法人の安全活動に参加できるなんて貴重な体験だと思っています。専門職という枠にとらわれず、一社会人として成長していきたいです。

## 印象に残ったエピソード

この8年間で一番印象に残っているのは、入社5年目に出会った入院患者様とのエピソードです。その患者様は食事がほとんど食べられず、経管栄養を行っていました。「経管栄養はもう嫌だ」と訴える患者様の元へ伺い、患者様と一緒に何か食べられそうなものはないか考えました。少しずつではありましたが一生懸命食べて下さり、数日後には一般食を食べられるようになりました。退院の日、ご両親と病棟を後にする患者様の姿を偶然見かけ、思わず声を

かけました。その時、患者様から「ありがとうございます」と言ってもらえたことや、元気に退院していく姿を見送れたことがとても嬉しかったですね。管理職となった今は、以前より患者様と接する機会が少なくなってしまうしましたが、患者様と話をすることは私の楽しみであり、勉強の場でもあります。患者様から教えて頂くこともたくさんありますからね。これからも患者様とのコミュニケーションは大事にしていきたいです。

## 栄養士としてのポリシー

これとってないのですが：強いて言えば、ポリシーを持たないのがポリシーです（笑）。固定観念を持ってしまつては、新しいアイデアを生み出せませんからね。何事にも柔軟に対応できる人間になりたいと思っています。

## 栄養課のこれから

給食で出したいメニューがたくさんあるので、実行に向けて研究していきたいです。給食で楽しさを提供したり、栄養指導で不安を取り除いたり、「食」を通して皆さんを笑顔にできる存在でありたいと思っています。



# 栗田病院レビュー

## 第3回日本精神科医学学会に参加しました

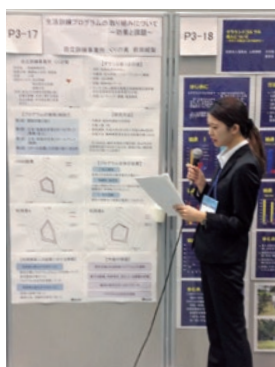
薬剤課 中田智雄

去る10月8日～10日の3日間、愛知県国際会議場にて開催された第3回日本精神科医学学会に参加して参りました。この学会は全国の精神科病院に勤務するスタッフが職種を問わず参加し、発表するという大変有意義な学会です。スタッフのスキルアップのため、法人としても積極的に参加を促しています。今回は理事長および4名のスタッフが参加し、発表を行いました。発表内容を以下に示します。

・荻原貴之（精神保健福祉士）  
長期入院退院支援プロジェクト  
（ポスター発表）



・前田絵梨（精神保健福祉士）  
生活訓練プログラムの取り組みについて  
～効果と課題～  
（ポスター発表）



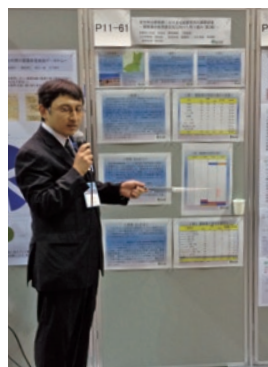
・丸山明日香（臨床心理士）  
うつグループにおける取り組み  
～多様性とその意義について～  
（口頭発表）



・中田智雄（薬剤師）  
統合失調症心理教育の記録から得られた服薬アドヒアランスの実態  
（口頭発表）



急性期治療病棟における頓服薬使用の実態調査  
～頓服薬の使用適正化に向けた取り組み（第2報）～  
（ポスター発表）



学会発表が初めてのスタッフもありましたが、皆堂々と発表し、質問に対してもしっかりと回答することができました。また、発表終了後に他施設の方から声をかけられ、ディスカッションをする場面もありました。

その他、特別講演では今後の精神科医療の展望として、入院患者様の地域への移行を目的とした病院の改革が必要であるとのことがありました。また、他施設の発表では、薬物治療やリハビリテーションおよび退院支援に関する取り組みが多くみられました。精神医療が多様化する中、各施設が工夫を凝らしていることを目の当たりにし、大変刺激を受けました。この学会で学んだことを今後の業務に活かし、より良い医療を提供していきたいと思っています。

発表を終えて

精神保健福祉士 前田絵梨

第3回日本精神科医学学会学術大会に参加させて頂き、「生活訓練プログラムの取り組みについて～効果と課題～」と題し発表を行いました。私が所属している自立訓練事業所くりの実では、日中、生活訓練プログラムを実施しています。平成25年8月から生活訓練プログラムの一つである『すてっぷあっぷの会』を導入し、社会生活力の向上を目的に実施してきました。今回、『すてっぷあっぷの会』実施前後の利用者様の社会生活力の変化を追い、プログラムの効果と課題について報告させて頂きました。研究結果として、他者との交流及び意思表示が増えたことや、服薬自己管理能力の向上、病気の理解及び病識の獲得等の変化が見られました。これらの変化が全て生活訓練プログラム導入による結果とは言えませんが、退後の生活を具体的に考えることが出来るようになり、目標としている生活に近づき退所となつ

た症例もありました。今回の結果から明らかとなった課題を今後のプログラム企画・運営に生かしていきたいと考えています。

当院では、積極的に学会への発表を行っています。今回の学会で得た知識を臨床の場で活かし、今後自己研鑽に励んでいきたいと考えています。



## 大盛り上がり！ 有朋会の熱い戦い

有朋会職員による熱い戦い「職員運動会」が開催されました。

毎年の恒例になりつつある職員運動会是有朋会の大きなイベントの一つです。

理事長先生と院長先生をそれぞれの監督として紅白2チームに分かれ行いました。

今回は新競技として借り人競争が追加され、個性溢れるレースが展開される中、全員参加の綱引きでは各チーム一体となり、壮絶な戦いが繰り広げられました。



最も輝いていた職員には MVP が与えられ、豪華賞品が贈られました。

たくさんの職員が参加し、こういったイベントを通して有朋会のコミュニケーションは磨かれていきます。

## 地域の皆様と芋煮会

有朋会で行われる恒例行事「芋煮会」が十一月に開かれました。

肌寒くなってきたこの時期に地域の皆様、利用者様、有朋会職員が集まり大鍋を囲む行事です。

各部署から実行委員が選ばれ、午前中から一日かけて準備をしています。

地域の方々と交流を深める貴重な時間なので、次回も多くの方に参加していただけるような企画を組んでいきたいです。



## 創立記念講演

当法人では、毎年秋に法人の創立を記念して講演会を開いています。

今回は社会福祉法人天心会小阪病院の東司先生を講師としてお招きし、「精神科医療事故―起きたらどうする―」と題してご講演をいただきました。

精神科医療事故について、起きた後の対処法や起こさない為の防止策など、事例を交えながらお話いただきました。

医療事故はどの医療機関にも起こり得るものです。職員一人ひとりが責任と自覚を持って業務に取り組む事が何より重要です。

今回の講演を学びに患者様や利用者様のサービスの向上に繋げていきたいです。



# 診療案内

## 外来担当医一覧表

受付時間 午前 8:00 ~ 11:30 / 午後 11:31 ~ 15:00  
診察時間 午前 9:00 開始 / 午後 13:30 開始

|     | 診察室 | 月  | 火  | 水  | 木  | 金         | 土                  |
|-----|-----|----|----|----|----|-----------|--------------------|
| 午 前 | 1 診 | 安部 | 片野 | 安部 | 栗田 | 鈴木        | 水挽                 |
|     | 2 診 | 堤  | 高橋 | 堤  | 田口 | 堀         | 第3,5週 吉川<br>第2週 鈴木 |
|     | 3 診 |    |    | 木滝 | 木滝 | 太刀川       | 高橋                 |
|     | 5 診 |    |    |    |    | 井出        | 田口                 |
| 午 後 | 1 診 | 栗田 |    |    |    |           | 休診                 |
|     | 2 診 |    | 袖山 | 木滝 |    | 第2,4週 安谷屋 |                    |
|     | 3 診 |    | 佐藤 | 竹下 |    | 渡辺        |                    |
|     | 6 診 |    |    |    |    | 井出        |                    |

初めての外来受診・入院を希望される方へ

1. 電話で患者様の情報や現在の状況をご相談下さい。
2. 次にケースワーカー（相談員）が詳しい話を伺い、その後ご予約をお取りします。

※現在他病院を受診している、もしくは受診していた場合は紹介状が必要になります。

※当日の状況により、予約内容が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

\*精神科外来は完全予約制になります。

\*当日のご予約は行っておりません。前日までにご予約をお願い致します。

予約電話対応時間 月～土（祝日を除く）9:00～17:00 TEL.029-298-0175

■ = 内科

# 関連施設

地域生活支援事業部

## 障害福祉サービス事業所 自立訓練(生活訓練) ショートステイ

「くりの実」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505 TEL&FAX.029-295-1834

## 障害福祉サービス事業所 グループホームくりの木

「第一くりの木」「第二くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7652

「くりくり」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7680 FAX.029-295-7681

「くりあん」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3429-2 TEL.029-231-2280 FAX.029-231-2281

## 認知症デイサービス

「クリクリ瓜連」 〒319-2103 茨城県那珂市中里1365-7 TEL.029-270-9550 FAX.029-270-9558

「クリクリ住吉」 〒310-0844 茨城県水戸市住吉町20-6 TEL.029-248-1001 FAX.029-248-0215

「クリクリ市毛」 〒312-0033 茨城県ひたちなか市市毛上坪1186-2 TEL.029-275-0262 FAX.029-275-0263

「クリクリ青柳」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3923-5 TEL.029-231-7066 FAX.029-231-7067

## 小規模多機能型居宅介護施設・認知症グループホーム

小規模多機能ホーム「クリクリ」・認知症グループホーム「クリクリ」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰140-17 TEL.029-352-0016 FAX.029-298-7750

認知症疾患事業部

# アクセスマップ

